

心部の街並みを再現した。ゲーム内の寺社や飲食店からは歴史やメニューを紹介したサイトにアクセスでき、リアル世界への誘客を促している。
(渡辺誠)

高梁

吉備国際大(高梁市伊賀町)社会科学部の学生グループが、ブロックでさまざまな建物を築いて自分だけの仮想世界を創造していく人気ゲーム「マインクラフト」で、市中

吉備国大学生グループ



高梁市街地を再現したマインクラフトの画面。中央の建物はJR備中高梁駅と市図書館

仮想世界創造
マインクラフト

ゲームで高梁街並み

寺社、店から紹介サイトへ

JR備中高梁駅や市図書館などがある市街地4.6キロ四方を対象に組み立てた。国土地理院の基盤地図情報やGoogleマップを参考にし、200種類以上のブロックを使ったという。

企画したのは4年渡辺晋英さん(22)。3年生だった2021年春、観光やまちづくりについて学ぶ中で、ゲームを活用した地域の魅力アピールを思い立った。周囲にも声をかけ、1、3、4年生計11人で「高梁市街地立体観光マップ製作プロジェクト」と題し、作業を進めた。

山田方谷記念館、備中高梁稻荷神社をはじめ、飲食店や公共施設計10カ所は、アクセス先のサイトに解説を載せている。関係者にインタビューを行ったり、現地の写真を撮影したりしてまとめており、今後約30カ所まで増やす予定。渡辺さんは「市内には魅力的な場所が

リアル世界へ誘客促す

たくさんあることを知ってほしい。ゲームを利用することで、若い人にもPRできれば」と話した。

同プロジェクトのブログでは、再現した高梁市街地をタウンロードしてプレイする方法も紹介している。

備中高梁稻荷神社の由緒と歴史



稲荷神社は寛弘元年(1004年)に花山上皇が巡幸の際、京都の伏見稲荷大社の御分霊の勧請を受け、遷宮さんが来たことが始まりとされています。稲荷神社はもともとお米などの五穀豊穡を願うためのお宮でしたが、江

ゲーム内からアクセスできるサイトの画面